

タイトル	先輩の思いを受け継ぐ桜並木活動
名称（学校・地域）	伊那市立美篤小学校
日時・場所等	
ホームページアドレス	<a href="http://www.ina-ngn.ed.jp/~misuzu/">http://www.ina-ngn.ed.jp/~misuzu/</a>

## 先輩の思いを受けついで

### 桜並木の復活

美篤小学校の校区内にある三峰川沿いの地域は古くから水害に悩まされ、堤防の決壊を防ぐために「霞堤（かすみでい）」という堤防を築き土地を守ってきました。その堤防は現在もその形をとどめています。かつてこの霞堤には無数の桜が植えられていました。桜の根によって堤防を守る意味もあったといえます。ところが、昭和40年代に高遠線の安全対策として、堤防をダンプカー専用道路とするため、桜の大部分を失ってしまいました。

美篤小学校ではこの歴史を学んだ子ども達が桜並木の復活を願い、平成8年度の6年生が卒業前に桜の苗木3本を植樹しました。これが始まりとなり、その後全校活動や学級の活動、PTAや美篤地区の人々の協力により苗木の植樹と手入れが進み、現在では56本の立派な桜並木が復活しています。今年は桜の開花に合わせてライトアップも行われ、中・南アルプスを背景にして美しく咲いた桜並木の桜を目にした方も多いことと思います。この桜並木を受け継ぎ、守っていく取り組みはその後も引き継がれ現在に至っています。

### 桜並木活動の今

今年度も桜並木の復活について学んだ4, 5, 6年生の子どもたちが5月に霞堤を通過して桜並木へ行き、縦割り班ごとに担当の桜の木の成長を測定したり、周辺環境整備をしたりしてきました。また、伊那市の建設課や桜守の方、地域桜守の方にご指導いただきながらPTA作業で桜の枯れ枝を剪定する作業も行っています。

11月再び子ども達が桜並木へ行き、すっかり紅葉して落葉の時期を迎えた桜の木を観察し、桜の幹や枝の成長の様子を観察したり、周辺の整備を行ったりします。児童・PTA・地域が一体となってこれからも先輩方から受け継いだ大切な桜並木を守り、この桜並木活動を継続していきたいと思っています。

